

スーパーKEPT施工仕様書

本仕様はECP版に施工するスーパーKEPT仕上げ材の仕様について規定する。

施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/ m ²)	塗り 回数	間 隔 時 間(h) ※1		
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生
1	下地清掃	板材表面の付着物などは清掃し取り除く					
2	シーラー 塗り	KEPTシーラーWD	原液使用	0.07～ 0.12	1		6～72
3	目地色塗り	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0～0.4kg 20kg	0.2～ 0.25	1		6以上
4	タイル調部分 基本色塗り	KEPT中塗	清水希釈 0～0.4kg 16kg	0.12～ 0.15	1～2	3以上	3以上
5	タイル調部分 柄材塗り	スーパーKEPT上塗	原液使用 18kg	0.2～ 0.3	1		24以上

- ※1 工程間の間隔時間は、気温20℃湿度65%を標準として想定しています。
(風・日射・湿度等の環境変化については加味しておりません。)
- ※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらないようにしてください。
降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。
はげしい降雨が予想される場合は、養生ネット越しのこもった湿気にもご注意ください。
気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
- ※3 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのものでご使用
ください。
万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保及びブリード防止のためシーリン
グメーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※4 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。
- ※5 施工前にはアスロックパネル表面が濡れている。パネル裏面から水が浸透する。等のような接着不良に
なるような状況の無いような施工工程としてください。
- ※6 KEPT目地用下塗りは骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。
使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。
- ※7 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用しないで
ください。
使用時には柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくいあげるようにやさしく混ぜてください。
- ※8 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方で模様の濃淡が出てきやすく、
色ムラにつながる可能性があります。膜厚、及び、施工者の統一など管理にはご注意ください。
- ※9 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、
上塗りが乳化して上塗りの塗膜が柔らかくなる場合があります。
これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

株式会社KMユナイテッド
フジワラ化学株式会社

スーパーKEPT施工仕様書

本仕様はPCパネルに施工するスーパーKEPT仕上げ材の仕様について規定する。

施工工程

	工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/ ㎡)	塗り 回数	間隔時間(h) ※1		
						工程内 (2回塗)	工程間	最終養生
1	下地清掃	板材表面の付着物などは清掃し取り除く						
2	シーラー 塗り	KEPT シーラーEPO	原液使用 A液:B液=1:1 16kg セット品	0.07~ 0.12	1		6~72	
3	目地色塗り	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0~0.4kg 20kg	0.2~ 0.25	1		6以上	
4	タイル調部分 基本色塗り	KEPT中塗	清水希釈 0~0.4kg 16kg	0.12~ 0.15	1~2	3以上	3以上	
5	タイル調部分 柄材塗り	スーパーKEPT上塗	原液使用 18kg	0.2~ 0.3	1			24以上

- ※1 工程間隔は、標準時(20℃・65%)を想定。
(風・日射・湿度変化の状況等は加味しておりません。)
下地の状態は、RC面:pH8以下、含水率5.5%以下で塗装可能です。
- ※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらないようにしてください。
降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。
降雨量が予想される場合は、養生ネット越しの湿気にも注意をしてください。
気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
- ※3 KEPTシーラーEPOはA液、B液混合後可使用時間は8時間です。
- ※4 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのものをご使用
ください。
万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保及びブリード防止のためシーリング
メーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※5 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。
- ※6 施工前にはアスロックパネル表面が濡れている。パネル裏面から水が浸透する。等のような接着不良にな
るような状況の無いような施工工程としてください。
- ※7 KEPT目地用下塗りは骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。使用前に
はよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。
- ※8 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用しないでください。
使用前に柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくいあげるようにやさしく混ぜてください。
- ※9 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方で模様の濃淡が出てきやすく、
色ムラにつながる可能性があります。膜厚、及び、施工者の統一など管理にはご注意ください。
- ※10 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、
上塗りが乳化して上塗りの塗膜が柔らかくなる場合があります。
これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

スーパーKEPT塗装仕様書

本仕様はRC、モルタルに施工するスーパーKEPT仕上げ材の仕様について規定する。

施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/ m ²)	塗り 回数	間 隔 時 間(h) ※1		
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生
1	下地清掃	板材表面の付着物、脆弱部分などはケレン、清掃し取り除く。 下地コンクリートのジャンカ、ピンホールは前もって処理してください。					
2	シーラー 塗り	KEPTシーラーW (RC用)	原液使用 15kg	0.1～ 0.15	1		3～168
3	弾性主材 塗布 ※4	KEPT弾性防水材 (RC用)	清水希釈 0～1.0kg 20 kg	1.7	2～4	5 以上	24以上
4	目地色塗り	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0～0.4kg 20kg	0.2～ 0.25	1		6以上
5	タイル調部分 基本色塗り	KEPT中塗	清水希釈 0～0.4kg 16kg	0.12～ 0.15	1～2	3 以上	3 以上
6	タイル調部分 柄材塗り	スーパーKEPT上塗	原液使用 18kg	0.2～ 0.3	1		24以上

※1 工程間間隔は、標準時(20℃・65%)を想定しています。

(風・日射・湿度等の環境変化については加味しておりません)

下地の状態は、RC面:pH8以下、含水率10%以下で塗装可能です。

※2 施工後、24時間は降雨にあたらぬようにしてください。

降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。

降雨量が予想される場合は、養生ネット越しの湿気にも注意をしてください。

気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。

※3 目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのものご使用ください。

万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保及びブリード防止のためシーリングメーカー指定の逆プライマーをご使用ください。

シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。

※4 弾性主材は塗布量が多く厚吹きになるため非常に乾きが遅くなります。施工後、塗膜の雨養生、及び乾燥は充分に行ってください。

※5 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。

※6 施工前にはコンクリート面のジャンカ、欠け、ピンホールは入念に処理してください。

※7 KEPT下塗材・骨材入りは骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながらご使用ください。

※8 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用しないでください。

使用前に柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくいあげるようにやさしく混ぜてください。

※9 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方一つで模様の濃淡が出てきやすく、色ムラにつながる可能性があります。膜厚、及び、施工者の統一など管理にはご注意ください。

※10 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、上塗りが乳化して上塗りの塗膜が柔らかくなる場合があります。

これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

次項:【留意点】もご確認ください。

【留意点】RC面に高弾性吹付タイル(KEPT弾性)を塗る場合

①柱型は、伸縮目地のシーンを先行した上で約7日間乾燥後、KEPT塗装
(但し、シーンは化粧シーンとする)

②梁型は、天端防水の先行をした上で梁表面をKEPT塗装

③上記がやむなく対応できない場合、屋上や天端等の雨養生を確実にした上でKEPT塗装先行が可能

株式会社KMユナイテッド
フジワラ化学株式会社

スーパーKEPT施工仕様書

本仕様はALC版に施工するスーパーKEPT仕上げ材の仕様について規定する。

施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/ m ²)	塗り 回数	間 隔 時 間(h) ※1		
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生
1	下地清掃	板材表面の付着物などは清掃し取り除く。ALC版の傷、かけは補修されていること。					
	下地処理	KEPTFCフィラー	0~0.4kg 清水希釈 18kg	0.5~ 1.0	1		6以上
2	シーラー 塗り	KEPTシーラーW	原液使用 15kg	0.01~ 0.15	1		6~72
3	目地色塗り	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0~0.4kg 20kg	0.2~ 0.25	1		6以上
4	タイル調部分 基本色塗り	KEPT中塗	清水希釈 0~0.4kg 16kg	0.12~ 0.15	1~2	3以上	3以上
5	タイル調部分 柄材塗り	スーパーKEPT上塗	原液使用 18kg	0.2~ 0.3	1		24以上

※1 工程間間隔は、標準時(20℃・65%)を想定。

(風・日射・湿度変化の状況等は加味しておりません。)

※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらないようにしてください。

降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。

降雨量が予想される場合は、養生ネット越しの湿気にも注意をしてください。

気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。

※3 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのものご使用
ください。

万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保及びブリード防止のためシーリング
メーカー指定の逆プライマーをご使用ください。

シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。

※4 弾性主材は塗布量が多く厚吹きになるため非常に乾きが遅くなります。施工後、塗膜の雨養生、
及び乾燥は充分に行ってください。

※5 下地処理は、ALC面の巣穴は入念に処理してください(小口などは、ハケ処理必要)。

※6 下地処理は、セメントフィラー仕様CT-3も可能です。

※7 KEPT下塗材・骨材入りは骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。
使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。

※8 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用しないでください。
使用前に柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくいあげるようにやさしく混ぜてください。

※9 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方一つで模様の濃淡が出てきやすく、
色ムラにつながる可能性もあります。膜厚、及び、施工者の統一など管理にはご注意ください。

※10 ②~④の工程まではスプレー施工を基本としています。(ローラー施工も可能)

※11 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、
上塗りが乳化して上塗りの塗膜が柔らかくなる場合があります。

これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題ありません。

KEPTスタンダード施工仕様書

本仕様はECP版に施工するKEPTスタンダード仕上げ材の仕様について規定する。

施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/ m ²)	塗り 回数	間 隔 時 間(h) ※1		
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生
1	下地清掃	板材表面の付着物などは清掃し取り除く					
2	シーラー 塗り	KEPTシーラーWD	原液使用	0.07～ 0.12	1		6～72
3	目地色塗り	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0～0.4kg 20kg	0.2～ 0.25	1		6以上
4	タイル調部分 基本色塗り	KEPT中塗	清水希釈 0～0.4kg 16kg	0.12～ 0.15	1～2	3以上	3以上
5	タイル調部分 柄材塗り	KEPTスタンダード上塗	原液使用 18kg	0.2～ 0.3	1		24以上

- ※1 工程間の間隔時間は、気温20℃湿度65%を標準として想定しています。
(風・日射・湿度等の環境変化については加味しておりません。)
- ※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらないようにしてください。
降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。
はげしい降雨が予想される場合は、養生ネット越しのこもった湿気にもご注意ください。
気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
- ※3 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのものをご使用
ください。
万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保及びブリード防止のためシーリン
グメーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※4 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。
- ※5 施工前にはアスロックパネル表面が濡れている。パネル裏面から水が浸透する。等のような接着不良に
なるような状況の無いような施工工程としてください。
- ※6 KEPT目地用下塗りは骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。
使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。
- ※7 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用しないで
ください。
使用時には柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくいあげるようにやさしく混ぜてください。
- ※8 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方で模様の濃淡が出てきやすく、
色ムラにつながる可能性があります。膜厚、及び、施工者の統一など管理にはご注意ください。
- ※9 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、
上塗りが乳化して上塗りの塗膜が柔らかくなる場合があります。
これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

株式会社KMユナイテッド
フジワラ化学株式会社

KEPTスタンダード施工仕様書

本仕様はPCパネルに施工するKEPTスタンダード仕上げ材の仕様について規定する。

施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/ ㎡)	塗り 回数	間 隔 時 間(h) ※1		
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生
1	下地清掃	板材表面の付着物などは清掃し取り除く					
2	シーラー 塗り	KEPT シーラーEPO	原液使用 A液:B液=1:1 16kg セット品	0.07~ 0.12	1		6~72
3	目地色塗り	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0~0.4kg 20kg	0.2~ 0.25	1		6以上
4	タイル調部分 基本色塗り	KEPT中塗	清水希釈 0~0.4kg 16kg	0.12~ 0.15	1~2	3以上	3以上
5	タイル調部分 柄材塗り	KEPTスタンダード上塗	原液使用 18kg	0.2~ 0.3	1		24以上

- ※1 工程間隔は、標準時(20°C・65%)を想定。
(風・日射・湿度変化の状況等は加味しておりません。)
下地の状態は、PC面:pH8以下、含水率5.5%以下で塗装可能です。
- ※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらぬようにしてください。
降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。
降雨量が予想される場合は、養生ネット越しの湿気にも注意をしてください。
気温5°C以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
- ※3 KEPTシーラーEPOはA液、B液混合後可使用時間は8時間です。
- ※4 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのものでご使用
ください。
万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保及びブリード防止のためシーリ
ングメーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※5 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。
- ※6 施工前にはアスロックパネル表面が濡れている。パネル裏面から水が浸透する。等のような接着不良
になるような状況の無いような施工工程としてください。
- ※7 KEPT目地用下塗りは骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。使用前
にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。
- ※8 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用しないでくだ
い。
使用前に柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくいあげるようにやさしく混ぜてください。
- ※9 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方で模様の濃淡が出てきやすく、
色ムラにつながる可能性があります。膜厚、及び、施工者の統一など管理にはご注意ください。
- ※10 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、
上塗りが乳化して上塗りの塗膜が柔らかくなる場合があります。
これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

株式会社KMユナイテッド
フジワラ化学株式会社

KEPTスタンダード塗装仕様書

本仕様はRC、モルタルに施工するKEPTスタンダード仕上げ材の仕様について規定する。

施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/ m ²)	塗り 回数	間 隔 時 間(h) ※1		
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生
1	下地清掃	板材表面の付着物、脆弱部分などはケレン、清掃し取り除く。 下地コンクリートのジャンカ、ピンホールは前もって処理してください。					
2	シーラー 塗り	KEPTシーラーW (RC用)	原液使用 15kg	0.1～ 0.15	1		3～168
3	弾性主材 塗布 ※4	KEPT弾性防水材 (RC用)	清水希釈 0～1.0kg 20 kg	1.7	2～3	5 以上	24以上
4	目地色塗り	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0～0.4kg 20kg	0.2～ 0.25	1		6以上
5	タイル調部分 基本色塗り	KEPT中塗	清水希釈 0～0.4kg 16kg	0.12～ 0.15	1～2	3 以上	3以上
6	タイル調部分 柄材塗り	KEPTスタンダード上塗	原液使用 18kg	0.2～ 0.3	1		24以上

- ※1 工程間間隔は、標準時(20℃・65%)を想定しています。
(風・日射・湿度等の環境変化については加味しておりません)
下地の状態は、RC面:pH8以下、含水率10%以下で塗装可能です。
- ※2 施工後、24時間は降雨にあたらぬようにしてください。
降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。
降雨量が予想される場合は、養生ネット越しの湿気にも注意をしてください。
気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
- ※3 目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのものご使用ください。
万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保及びブリード防止のためシーリングメーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※4 弾性主材は塗布量が多く厚吹きになるため非常に乾きが遅くなります。施工後、塗膜の雨養生、及び乾燥は充分に行ってください。
- ※5 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。
- ※6 施工前にはコンクリート面のジャンカ、欠け、ピンホールは入念に処理してください。
- ※7 KEPT下塗材・骨材入りは骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながらご使用ください。
- ※8 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用しないでください。
使用前に柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくいあげるようにやさしく混ぜてください。
- ※9 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方で模様の濃淡が出てきやすく、色ムラにつながる可能性があります。膜厚、及び、施工者の統一など管理にはご注意ください。
- ※10 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、上塗りが乳化して上塗りの塗膜が柔らかくなる場合があります。
これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

次項:【留意点】もご確認ください。

【留意点】RC面に高弾性吹付タイル(KEPT弾性)を塗る場合

①柱型は、伸縮目地のシーンを先行した上で約7日間乾燥後、KEPT塗装
(但し、シーンは化粧シーンとする)

②梁型は、天端防水の先行をした上で梁表面をKEPT塗装

③上記がやむなく対応できない場合、屋上や天端等の雨養生を確実にした上でKEPT塗装先行が可能

株式会社KMユナイテッド
フジワラ化学株式会社

KEPTスタンダード施工仕様書

本仕様はALC版に施工するスーパーKEPT仕上げ材の仕様について規定する。

施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/ m ²)	塗り 回数	間隔時間(h) ※1		
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生
1	下地清掃	板材表面の付着物などは清掃し取り除く。ALC版の傷、かけは補修されていること。					
	下地処理	KEPTFCフィラー	0~0.4kg 清水希釈 18kg	0.5~ 1.0	1		6以上
2	シーラー 塗り	KEPTシーラーW	原液使用 15kg	0.01~ 0.15	1		6~72
3	目地色塗り	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0~0.4kg 20kg	0.2~ 0.25	1		6以上
4	タイル調部分 基本色塗り	KEPT中塗	清水希釈 0~0.4kg 16kg	0.12~ 0.15	1~2	3以上	3以上
5	タイル調部分 柄材塗り	KEPTスタンダード上塗	原液使用 18kg	0.2~ 0.3	1		24以上

- ※1 工程間間隔は、標準時(20℃・65%)を想定。
(風・日射・湿度変化の状況等は加味しておりません。)
- ※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらないようにしてください。
降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。
降雨量が予想される場合は、養生ネット越しの湿気にも注意をしてください。
気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
- ※3 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのものをご使用
ください。
万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保及びブリード防止のためシーリング
メーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※4 弾性主材は塗布量が多く厚吹きになるため非常に乾きが遅くなります。施工後、塗膜の雨養生、
及び乾燥は充分に行ってください。
- ※5 下地処理は、ALC面の巣穴は入念に処理してください(小口などは、ハケ処理必要)。
- ※6 下地処理は、セメントフィラー仕様CT-3も可能です。
- ※7 KEPT下塗材・骨材入りは骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。
使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。
- ※8 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用しないでくだ
い。
使用前に柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくいあげるようにやさしく混ぜてください。
- ※9 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方で模様の濃淡が出てきやすく、
色ムラにつながる可能性もあります。膜厚、及び、施工者の統一など管理にはご注意ください。
- ※10 ②~④の工程まではスプレー施工を基本としています。(ローラー施工も可能)
- ※11 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、
上塗りが乳化して上塗りの塗膜が柔らかくなる場合があります。
これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題ありません。

2色多彩スーパーKEPT施工仕様書

本仕様は、ECP板に施工する2色多彩スーパーKEPT仕上げ材の仕様について規定する。
施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	間 隔 時 間 (h)			
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生	
①	下地清掃	板材表面の付着物、脆弱部分などはケレン、清掃し取り除く。						
②	シーラー 塗布	KEPTシーラーWD (シーラー材)	原液使用 15kg	0.10	1		6以上	72
③	目地色塗布	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0~0.4kg 20kg	0.2~ 0.25	1		6以上	
④	タイル調 部分基本色 塗り①	KEPT中塗① (薄色)	清水希釈 0~0.4kg 16kg	0.12~ 0.15	1~ 2	3以上	3以上	
⑤	タイル調 部分基本色 塗り②	KEPT中塗② (濃色)	清水希釈 0~0.4kg 16kg	0.05	1		3以上	
⑥	タイル調 模様部分 柄材塗り	スーパーKEPT 上塗 (タイル表面柄材塗料)	原液使用 18kg	0.2~0.3	1			24 以上

- ※1 工程間の間隔時間は、気温20℃・湿度65%を標準として想定。
(風・日射・湿度等の環境変化については加味しておりません。)
- ※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらぬようにしてください。
(降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。)
はげしい降雨が予想される場合は、養生ネット越しのこもった湿気にもご注意ください。
気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
また、施工後、短時間で5℃以下になる夕方には施工しないでください。
- ※3 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのも
のをご使用ください。万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保
及びブリード防止のためシーリングメーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※4 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。
- ※5 施工前にはECP板表面が濡れている。パネル裏面から水が浸透する。等のような接着不良に
なるような状況の無いような施工工程としてください。
- ※6 KEPT目地用下塗は、骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。
使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。
- ※7 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用し
ないでください。使用時には柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくい上げるようにやさ
しく混ぜてください。
- ※8 中塗(濃色)の配色バランスを作業員の感覚のみで頼ってしまうと、偏りが出てしまう恐れが
あるので、当て板にて配色ポイントに印をつけてから、中塗(濃色)を塗装してください。
施工後一通り配色バランスを確認し不自然な偏りが感じられたら、作業員の感覚で微調整する
事は可能とする。また刷毛で色付けするのではなく、2インチ程度のローラーで塗装する。
- ※9 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方一つで模様の濃淡が出てきやすく、色ムラ
につながる可能性もあるので、膜圧及び施工者の統一など管理にはご注意ください。
- ※10 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、上
塗りが乳化して上塗りの塗膜が軟らかくなる場合があります。これは塗料の性質であり、塗膜
が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

2色多彩スーパーKEPT施工仕様書

本仕様は、ECPパネル、PCパネルに施工する2色多彩スーパーKEPT仕上げ材の仕様について規定する。
施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	間隔時間(h)			
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生	
①	下地清掃	板材表面の付着物、脆弱部分などはケレン、清掃し取り除く。 下地コンクリートのジャンカ、ピンホールは前もって処理されているか確認。						
②	シーラー 塗布	KEPTシーラーEPO (ECP・PC用)	原液使用 A液：B液 1：1 16kgセット	0.1	1		6以上	72
③	目地色塗布	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0～0.4kg 20kg	0.2～0.25	1		6以上	
④	タイル調 部分基本色 塗り①	KEPT中塗① (薄色)	清水希釈 0～0.4kg 16kg	0.12～ 0.15	1～ 2	3以上	3以上	
⑤	タイル調 部分基本色 塗り②	KEPT中塗② (濃色)	清水希釈 0～0.4kg 16kg	0.05	1		3以上	
⑥	タイル部分 多彩柄材塗	スーパーKEPT 上塗 (タイル表面柄材塗料)	原液使用 18kg	0.2～0.3	1			24以上

- ※1 工程間の間隔時間は、気温20℃・湿度65%を標準として想定。
(風・日射・湿度等の環境変化については加味しておりません。)
下地の状態は、PC面：pH8以下、含水率5.5%以下で塗装可能です。
- ※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらぬようにしてください。
(降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。)
はげしい降雨が予想される場合は、養生ネット越しのこもった湿気にもご注意ください。
気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
また、施工後、短時間で5℃以下になる夕方には施工しないでください。
- ※3 KEPTシーラーEPOはA液、B液混合後可使時間は8時間です。
- ※4 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのも
のご使用ください。万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保
及びブリード防止のためシーリングメーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※5 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。
- ※6 施工前にはECP板表面が濡れている。パネル裏面から水が浸透する。等のような接着不良に
なるような状況の無いような施工工程としてください。
- ※7 KEPT目地用下塗は、骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。
使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。
- ※8 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用し
ないでください。使用時には柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくい上げるようにやさ
しく混ぜてください。
- ※9 中塗(濃色)の配色バランスを作業員の感覚のみで頼ってしまうと、偏りが出てしまう恐れが
あるので、当て板にて配色ポイントに印をつけてから、中塗(濃色)を塗装してください。
施工後一通り配色バランスを確認し不自然な偏りが感じられたら、作業員の感覚で微調整する
事は可能とする。また刷毛で色付けするのではなく、2インチ程度のローラーで塗装する。
- ※10 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方一つで模様の濃淡が出てきやすく、色ム
ラにつながる可能性もあるので、膜圧及び施工者の統一など管理にはご注意ください。

※11 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、上塗りが乳化して上塗りの塗膜が軟らかくなる場合があります。これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

株式会社KMユナイテッド
フジワラ化学株式会社

2色多彩スーパーKEPT施工仕様書

本仕様は、RC、モルタル地に施工する2色多彩スーパーKEPT仕上げ材の仕様について規定する。
施工工程

	工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	間 隔 時 間 (h)		
						工程内 (2回塗)	工程間	最終養生
①	下地清掃	板材表面の付着物、脆弱部分などはケレン、清掃し取り除く。 下地コンクリートのジャンカ、ピンホールは前もって処理されているか確認。						
②	シーラー 塗布	KEPTシーラーW (RC用)	原液使用 15kg	0.1	1		3~168	72
③	弾性主材 塗布	KEPT弾性防水材 (RC用)	清水希釈 0~1.0kg 20 kg	1.7	2~ 3	1 2	24以上	
④	目地色塗り	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0~0.4kg 20 kg	0.2~ 0.25	1		6以上	
⑤	タイル調 部分基本色 塗り①	KEPT中塗① (淡色)	清水希釈 0~0.4kg 16kg	0.12~ 0.15	1~ 2	3以上	3以上	
⑥	タイル調 部分基本色 塗り②	KEPT中塗② (濃色)	清水希釈 0~0.4kg 16kg	0.05	1		3以上	
⑦	タイル部分 柄材塗り	スーパーKEPT 上 塗 (タイル表面柄材塗料)	原液使用 18kg	0.2~0.3	1			24以上

- ※1 工程間の間隔時間は、気温20℃・湿度65%を標準として想定。
(風・日射・湿度等の環境変化については加味しておりません。)
下地の状態は、RC面：pH8以下、含水率10%以下で塗装可能です。
- ※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらぬようにしてください。
(降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。)
はげしい降雨が予想される場合は、養生ネット越しのこもった湿気にもご注意ください。
気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
また、施工後、短時間で5℃以下になる夕方には施工しないでください。
- ※3 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのも
のをご使用ください。万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保
及びブリード防止のためシーリングメーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※4 弾性主材は塗布量が多く厚吹きになるため非常に乾きが遅くなります。施工後、塗膜の雨養生、
及び乾燥は充分に行ってください。
- ※5 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。
- ※6 施工前にはコンクリート面のジャンカ、欠け、ピンホールは入念に処理してください。
- ※7 KEPT目地用下塗は、骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。
使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。
- ※8 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用し
ないでください。使用時には柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくい上げるようにやさ
しく混ぜてください。
- ※9 中塗(濃色)の配色バランスを作業員の感覚のみで頼ってしまうと、偏りが出てしまう恐れが
あるので、当て板にて配色ポイントに印をつけてから、中塗(濃色)を塗装してください。
施工後一通り配色バランスを確認し不自然な偏りが感じられたら、作業員の感覚で微調整する
事は可能とする。また刷毛で色付けするのではなく、2インチ程度のローラーで塗装する。

- ※10 上塗（模様付け）に関しては、ローラーの転がし方一つで模様の濃淡が出てきやすく、色ムラにつながる可能性もあるので、膜圧及び施工者の統一など管理にはご注意ください。
- ※11 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、上塗りが乳化して上塗りの塗膜が軟らかくなる場合があります。これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

次項：【留意点】もご確認ください。

【留意点】RC面に高弾性吹付タイル（KEPT弾性）を塗る場合

- ①柱型は、伸縮目地のシールを先行した上で約7日間乾燥後、KEPT塗装
（但し、シールは化粧シールとする）
- ②梁型は、天端防水の先行をした上で梁表面をKEPT塗装
- ③上記がやむなく対応できない場合、屋上や天端等の雨養生を確実にした上でKEPT塗装先行が可能

株式会社KMユナイテッド
フジワラ化学株式会社

2色多彩KEPTスタンダード施工仕様書

本仕様は、ECP板に施工する2色多彩KEPTスタンダード仕上げ材の仕様について規定する。
施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	間 隔 時 間 (h)		
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生
①	下地清掃	板材表面の付着物、脆弱部分などはケレン、清掃し取り除く。					
②	シーラー 塗布	KEPTシーラーWD (シーラー材)	原液使用 15kg	0.10	1		6以上 72
③	目地色塗布	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0~0.4kg 20kg	0.2~ 0.25	1		6以上
④	タイル調 部分基本色 塗り①	KEPT中塗① (薄色)	清水希釈 0~0.4kg 16kg	0.12~ 0.15	1~ 2	3以上	3以上
⑤	タイル調 部分基本色 塗り②	KEPT中塗② (濃色)	清水希釈 16kg	0.05	1		3以上
⑥	タイル調 模様部分 柄材塗り	KEPTスタンダード 上塗 (タイル表面柄材塗料)	原液使用 18kg	0.2~0.3	1		24 以上

- ※1 工程間の間隔時間は、気温20℃・湿度65%を標準として想定。
(風・日射・湿度等の環境変化については加味しておりません。)
- ※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらぬようにしてください。
(降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。)
はげしい降雨が予想される場合は、養生ネット越しのこもった湿気にもご注意ください。
気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
また、施工後、短時間で5℃以下になる夕方には施工しないでください。
- ※3 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのも
のをご使用ください。万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保
及びブリード防止のためシーリングメーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※4 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。
- ※5 施工前にはECP板表面が濡れている。パネル裏面から水が浸透する。等のような接着不良に
なるような状況の無いような施工工程としてください。
- ※6 KEPT目地用下塗は、骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。
使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。
- ※7 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用し
ないでください。使用時には柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくい上げるようにやさ
しく混ぜてください。
- ※8 中塗(濃色)の配色バランスを作業員の感覚のみで頼ってしまうと、偏りが出てしまう恐れが
あるので、当て板にて配色ポイントに印をつけてから、中塗(濃色)を塗装してください。
施工後一通り配色バランスを確認し不自然な偏りが感じられたら、作業員の感覚で微調整する
事は可能とする。また刷毛で色付けするのではなく、2インチ程度のローラーで塗装する。
- ※9 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方一つで模様の濃淡が出てきやすく、色ムラ
につながる可能性もあるので、膜圧及び施工者の統一など管理にはご注意ください。
- ※10 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、上
塗りが乳化して上塗りの塗膜が軟らかくなる場合があります。これは塗料の性質であり、塗膜
が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

2色多彩KEPTスタンダード施工仕様書

本仕様は、ECP、PCに施工する2色多彩KEPTスタンダード仕上げ材の仕様について規定する。

施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	間 隔 時 間 (h)		
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生
①	下地清掃	板材表面の付着物、脆弱部分などはケレン、清掃し取り除く。 下地コンクリートのジャンカ、ピンホールは前もって処理されているか確認。					
②	シーラー 塗布	KEPTシーラーEPO (ECP・PC用)	原液使用 A液：B液 1：1 16kgセット	0.1	1		6以上 72
③	目地色塗布	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0～0.4kg 20 kg	0.2～0.25	1		6以上
④	タイル調 部分基本色 塗り①	KEPT中塗① (薄色)	清水希釈 0～0.4kg 16kg	0.12～ 0.15	1～ 2	3以上	3以上
⑤	タイル調 部分基本色 塗り①	KEPT中塗② (濃色)	清水希釈 0～0.4kg 16kg	0.05	1		3以上
⑥	タイル部分 多彩柄材塗	KEPTスタンダード 上 塗 (タイル表面柄材塗料)	原液使用 18kg 特注品	0.2～0.3	1		24以上

- ※1 工程間の間隔時間は、気温20℃・湿度65%を標準として想定。
(風・日射・湿度等の環境変化については加味しておりません。)
下地の状態は、PC面：pH8以下、含水率5.5%以下で塗装可能です。
- ※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらぬようにしてください。
(降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。)
はげしい降雨が予想される場合は、養生ネット越しのこもった湿気にもご注意ください。
気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
また、施工後、短時間で5℃以下になる夕方には施工しないでください。
- ※3 KEPTシーラーEPOはA液、B液混合後可使用時間は8時間です。
- ※4 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのも
のをご使用ください。万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保
及びブリード防止のためシーリングメーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコーンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※5 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。
- ※6 施工前にはパネル表面が濡れている。パネル裏面から水が浸透する。等のような接着不良にな
るような状況の無いような施工工程としてください。
- ※7 KEPT目地用下塗は、骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。
使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。
- ※8 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用し
ないでください。使用時には柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくい上げるようにやさ
しく混ぜてください。
- ※9 中塗(濃色)の配色バランスを作業員の感覚のみで頼ってしまうと、偏りが出てしまう恐れが
あるので、当て板にて配色ポイントに印をつけてから、中塗(濃色)を塗装してください。
施工後一通り配色バランスを確認し不自然な偏りが感じられたら、作業員の感覚で微調整する
事は可能とする。また刷毛で色付けするのではなく、2インチ程度のローラーで塗装する。
- ※10 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方一つで模様の濃淡が出てきやすく、色ム
ラにつながる可能性もあるので、膜圧及び施工者の統一など管理にはご注意ください。

※11 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、上塗りが乳化して上塗りの塗膜が軟らかくなる場合があります。これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

株式会社KMユナイテッド
フジワラ化学株式会社

2色多彩KEPTスタンダード塗装仕様書

本仕様は、RC、モルタル地に施工する2色多彩KEPTスタンダード仕上げ材の仕様について規定する。

施工工程

工程	材料	調合 (重量比)	所要量 (kg/m ²)	塗り 回数	間 隔 時 間(h) 1			
					工程内 (2回塗)	工程間	最終養生	
①	下地清掃	板材表面の付着物、脆弱部分などはケレン、清掃し取り除く。 下地コンクリートのジャンカ、ピンホールは前もって処理されているか確認。						
②	シーラー 塗布	KEPTシーラーW (RC用)	原液使用 15kg	0.1	1		3~168	72
③	弾性主材 塗布	KEPT弾性防水材 (RC用)	清水希釈 0~1.0kg 20 kg	1.7	2~ 3	1 2	24以上	
④	目地色塗り	KEPT目地用下塗 (骨材入り)	清水希釈 0~0.4kg 20 kg	0.2~0.25	1		6以上	
⑤	タイル調 部分基本色 塗り①	KEPT中塗① (淡色)	清水希釈 0~0.4kg 16kg	0.12~ 0.15	1~ 2	3以上	3以上	
⑥	タイル調 部分基本色 塗り②	KEPT中塗② (濃色)	清水希釈 0~0.4kg 16kg	0.05	1		3以上	
⑦	タイル部分 柄材塗り	KEPTスタンダード 上 塗 (タイル表面柄材塗料)	原液使用 18kg 特注品	0.2~0.3	1			24以上

- ※1 工程間の間隔時間は、気温20℃・湿度65%を標準として想定。
(風・日射・湿度等の環境変化については加味しておりません。)
下地の状態は、RC面：pH8以下、含水率10%以下で塗装可能です。
- ※2 標準時の施工後、24時間は降雨にあたらぬようにしてください。
(降雨が予想される場合は、雨養生を確実に行ってください。)
はげしい降雨が予想される場合は、養生ネット越しのこもった湿気にもご注意ください。
気温5℃以下、湿度70%以上の時は塗装しないでください。
また、施工後、短時間で5℃以下になる夕方には施工しないでください。
- ※3 パネル目地部に使用するシーリングは上に塗料が施工できるノンブリードタイプのも
のをご使用ください。万が一、ノンブリードタイプのシーリングでない場合は接着確保
及びブリード防止のためシーリングメーカー指定の逆プライマーをご使用ください。
シリコンシーリングは塗料が接着しないため使用できません。
- ※4 施工にあたり見本板を参考に、本施工の前に試験塗りを行ってください。
- ※5 施工前にはモルタル表面が濡れている。裏面から水が浸透する。等のような接着不良になるよ
うな状況の無いような施工工程としてください。
- ※6 KEPT目地用下塗は、骨材が入っているため沈降すると施工面がムラになる恐れがあります。
使用前にはよく攪拌し、使用時にも攪拌しながら使ってください。
- ※7 KEPT上塗材はハンドミキサーなどの電動攪拌機で攪拌すると柄がつぶれますので使用し
ないでください。使用時には柄杓又はローラー等で5回程度、底からすくい上げるようにやさ
しく混ぜてください。
- ※8 中塗(濃色)の配色バランスを作業員の感覚のみで頼ってしまうと、偏りが出てしまう恐れが
あるので、当て板にて配色ポイントに印をつけてから、中塗(濃色)を塗装してください。
施工後一通り配色バランスを確認し不自然な偏りが感じられたら、作業員の感覚で微調整する
事は可能とする。また刷毛で色付けするのではなく、2インチ程度のローラーで塗装する。
- ※9 上塗(模様付け)に関しては、ローラーの転がし方一つで模様の濃淡が出てきやすく、色ム
らにつながる可能性もあるので、膜圧及び施工者の統一など管理にはご注意ください。

※10 上塗り塗装24時間経過後であっても施工環境によっては雨などで長時間塗膜が濡れた場合、上塗りが乳化して上塗りの塗膜が軟らかくなる場合があります。これは塗料の性質であり、塗膜が完全乾燥することで硬化するので問題はありません。

次項:【留意点】もご確認ください。

【留意点】RC面に高弾性吹付タイル(KEPT弾性)を塗る場合

①柱型は、伸縮目地のシールを先行した上で約7日間乾燥後、KEPT塗装

(但し、シールは化粧シールとする)

②梁型は、天端防水の先行をした上で梁表面をKEPT塗装

③上記がやむなく対応できない場合、屋上や天端等の雨養生を確実にした上でKEPT塗装先行が可能

株式会社KMユナイテッド
フジワラ化学株式会社

KEPT ストーン塗装仕様書

仕上げの種類	石材調仕上塗材(外装薄塗材E)
製品名	KEPT ストーン

上塗材:2液弱溶剤形ふっ素樹脂クリアー

「KEPTストーン クリヤーF」

第1版 作成日: 2016年6月15日

株式会社 KM ユナイテッド

施工仕様

- 仕上げの種類 : 石材調仕上塗材(外装薄塗材E)
- 製品名 : KEPT ストーン
- 上塗材 : 2液弱溶剤形ふっ素樹脂クリヤー
「KEPTストーン クリヤーF」
- 素地 : 押し出し成形板
- 部位 : 内外部壁面
- 仕上がり形状 : 多彩さざなみ状模様
- 工程

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (23°C)	所要量	
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	KEPTストーン シーラーEPO 主材:12.5 kg 硬化剤:2.5 kg 無希釈	ウールローラー 刷毛 等	1 2	3~168 (7日)	45~150m ² /15 kg セット 0.10~0.34 kg/m ²	
目地用下塗り	KEPTストーン 目地用下塗 主材:16kg 清水:0~1.6 L	ウールローラー 刷毛 等	1 2	工程内 5 以上	80~106 m ² /16kg 0.15~0.20kg/m ²	
主材塗り	基層塗り	KEPTストーン 中塗 主材:20kg 清水:0.6~0.8L	KEPT ローラー	1	16 以上	11.8~13.3 m ² /20kg 1.5~1.7kg/m ²
	模様塗り	KEPTストーン 上塗 主材:20kg 清水:0.6~0.8L	KEPTローラー	1 2	工程内 6以上	7.7~13.3 m ² /20kg 1.5~2.6kg/m ²
上塗り	KEPTストーン クリヤーF 主材:12kg 硬化剤: 3kg 塗料用シンナー A:0~6 L	ウールローラー 刷毛 等	2	工程内 4以上	50~60 m ² /15kg 0.25~0.30kg/m ²	

- 注 1 施工用具・条件は代表的なものです。
- 注 2 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。
- 注 4 所要量の確認は塗見本との比較または単位体積当たりの使用量で確認して下さい。

● 荷 姿

下塗材:	KEPTストーン シーラーEPO	主 材	NET:	12.5kg/缶
		硬化剤	NET:	2.5kg/缶
目地用下塗材:	KEPTストーン 目地用下塗		NET:	16 kg/缶
主 材:	KEPTストーン 中塗		NET:	20 kg/缶
	KEPTストーン 上塗		NET:	20 kg/缶
上塗材:	KEPTストーン クリヤーF	主 材	NET:	12 kg/缶
		硬化剤	NET:	3 kg/缶

施工にあたっての要点

●下地

- 【1】 素地の乾燥は十分行ない、含水率 10%以下、pH 10 以下で施工して下さい。
- 【2】 外部の下地で巣穴、段差などがある場合、下地材に適した処理方法で処理して下さい。
- 【3】 吸い込みが大きい下地、部分的に下地調整を行なった面が他の面と比べて著しい吸い込み差を生じる場合には適切な下塗材の選択が必要です。
- 【4】 シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染や密着不良を起こすことがあります。

●施工

- 【1】 色・模様決定に当たっては、原則として塗見本を作製して、工事監理者の承認を受けて下さい。
- 【2】 塗見本は、必要に応じて工程ごとに手順が分かるものとします。
- 【3】 所定の塗付量に達しない場合や超えてしまう場合には、種々の欠陥を生じる場合があります。所定の塗付量を守って施工して下さい。

●材料

- 【1】 材料は直射日光下及び 0°C 以下での保管は避けて下さい。
- 【2】 溶剤系の製品を取り扱う場合は特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- 【3】 施工時は換気を十分行なって下さい。

●工法

1. 材料の取扱い

- 【1】 製品は使用前に均一にミキサーで混ぜ合わせて下さい。
- 【2】 希釈の必要な製品は指定の希釈材を使用し適切な量、適切な方法で均一に薄めて下さい。
- 【3】 2 液形の製品は、主材と硬化剤を指定の比率で調合し、ミキサーで混ぜ合わせて下さい。特に小分けでご使用の場合は計量器で正確に計量を行なって下さい。混合後の製品は、可使時間以内に使い切ってください。また、可使時間は温度、希釈によって変わりますので、混合後はなるべく早く使い切ってください。
- 【4】 既調合タイプの材料を希釈したり、他の材料と混合しないで下さい。
- 【5】 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS(安全データシート)を参照して下さい。

2. 下塗り

【1】 色むら、だれ、光沢むらのないよう均一に塗り付けて下さい。

3. 目地用下塗り

【1】 色むら、だれ、光沢むらのないよう均一に塗り付けて下さい。

4. 主材塗り

【1】 主材塗り見本と同様となるように注意して、施工を行なって下さい。

5. 上塗り

【1】 上塗りは、主材と硬化剤の混合比を厳守し、表1に示す割合のシンナーを加え均一に薄めて下さい。希釈には、指定のシンナーを使用して下さい。

【2】 シンナーの希釈割合は、ウールローラー、刷毛の場合、0～1.5L/セットです。

【3】 上塗材は、2回塗りを標準とし、色むら、だれ、光沢むらのないよう均一に塗り付けて下さい。

【4】 上塗材の希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率で使用して下さい。希釈率は色相及び施工時の気温により変化します。

【5】 可使時間は、6時間（23℃）とします。可使時間を過ぎた材料の使用は避けて下さい。

6. 施工方法

【1】 各種標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工して下さい。

●施工管理

【1】 施工場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上又は結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生じることがありますので、施工を避けて下さい。

【2】 降雨、結露、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を避けて下さい。

【3】 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止して下さい。

【4】 施工しない箇所はあらかじめ養生をし、その他の材料が付着しないようにして下さい。

【5】 養生を剥がす際は、十分に注意して行って下さい。

●その他の注意事項

【1】 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないようにして下さい。

【2】 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスクングを行って下さい。

【3】 刷毛、ローラー、スプレー等、施工方法により若干の色相差を生じることがあります。

【4】 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどに施工する場合は、蓄熱したり、水の影響や、下地の状態、塗装時の環境など条件により、塗膜の膨れ、はがれ、色むらが早期に生じることがあります。

- 【5】被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率により、仕上がり感が異なって見える場合があります。特に、塗継ぎ箇所ですら仕上がりにムラを生じやすい傾向にあります。試し塗りの上、本施工して下さい。
- 【6】旧塗膜の種類により、下塗材を選定して下さい。
- 【7】改修・改装工事の場合は、弊社最寄りの営業所にご相談ください。
- 【8】製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS(安全データシート、旧MSDS)を参照して下さい。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照するようにして下さい。

KEPTストーン塗装仕様書

仕上げの種類	石材調仕上塗材(外装薄塗材E)
製品名	KEPTストーン

上塗材: 1液水系アクリルシリコン樹脂クリヤー
「KEPTストーンクリヤーSi」

第1版 作成日: 2016年6月15日

株式会社 KM ユナイテッド

施 工 仕 様

- 仕上げの種類 : 石材調仕上塗材(外装薄塗材E)
- 製品名 : KEPTストーン
- 上塗材 : 1液水系アクリルシリコン樹脂クリヤー
「KEPTストーン クリヤーSi」
- 素地 : 押し出し成形板
- 部位 : 内外部壁面
- 仕上がり形状 : 多彩さざなみ状模様
- 工 程

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (23°C)	所要量	
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	KEPTストーン シーラーEPO 主材:12.5 kg 硬化剤:2.5 kg 無希釈	刷毛 ウールローラー	1 ┆ 2	3~168 (7日)	45~150m ² /15 kg セット 0.10~0.34 kg/m ²	
目地用下塗り	KEPTストーン 目地用下塗 主材:16kg 清水:0~1.6 L	ウールローラー 刷毛	1 ┆ 2	工程内 5以上	80~106 m ² /16kg 0.15~0.20kg/m ²	
主材塗り	基層塗り	KEPTストーン 中塗 主材:20kg 清水:0.6~0.8L	KEPT ローラー	1	16以上	11.8~13.3 m ² /20kg 1.5~1.7kg/m ²
	主材塗り	KEPTストーン 上塗 主材:20kg 清水:0.6~0.8L	KEPTローラー	1 ┆ 2	工程内 6以上	7.7~13.3 m ² /20kg 1.5~2.6kg/m ²
上塗り	KEPTストーン クリヤーSi 主材:15kg 清水:0.7~1.5L	ウールローラー はけ等	2	工程内 5以上	50~68m ² /15kg 0.22~0.30kg/m ²	

注1 施工用具・条件は代表的なものです。

注2 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の

状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

注 4 所要量の確認は塗見本との比較または単位体積当たりの使用量で確認して下さい。

● 荷 姿

下塗材:	KEPTストーン シーラーEPO	主材	NET:	12.5kg/缶
		硬化剤	NET:	2.5kg/缶
目地用下塗材:	KEPTストーン 目地用下塗		NET:	16 kg/缶
主 材:	KEPTストーン 中塗		NET:	20 kg/缶
	KEPTストーン 上塗		NET:	20 kg/缶
上塗材:	KEPTストーン クリヤーSi		NET:	15 kg/缶

施工にあたっての要点

●下地

- 【1】 素地の乾燥は十分行ない、含水率 10%以下、pH 10 以下で施工して下さい。
- 【2】 外部の下地で巣穴、段差などがある場合、下地材に適した処理方法で処理して下さい。
- 【3】 吸い込みが大きい下地、部分的に下地調整を行なった面が他の面と比べて著しい吸い込み差を生じる場合には適切な下塗材の選択が必要です。
- 【4】 シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染や密着不良を起こすことがあります。

●施工

- 【1】 色・模様決定に当たっては、原則として塗見本を作製して、工事監理者の承認を受けて下さい。
- 【2】 塗見本は、必要に応じて工程ごとに手順が分かるものとします。
- 【3】 所定の塗付量に達しない場合や超えてしまう場合には、種々の欠陥を生じる場合があります。所定の塗付量を守って施工して下さい。

●材料

- 【1】 材料は直射日光下及び 0°C 以下での保管は避けて下さい。
- 【2】 溶剤系の製品を取り扱う場合は特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守して下さい。
- 【3】 施工時は換気を十分行なって下さい。

●工法

1. 材料の取扱い

- 【1】 製品は使用前に均一にミキサーで混ぜ合わせて下さい。
- 【2】 希釈に必要な製品は指定の希釈材を使用し適切な量、適切な方法で均一に薄めて下さい。
- 【3】 2 液形の製品は、主材と硬化剤を指定の比率で調合し、ミキサーで混ぜ合わせて下さい。特に小分けでご使用の場合は計量器で正確に計量を行なって下さい。混合後の製品は、可使用時間以内に使い切ってください。また、可使用時間は温度、希釈によって変わりますので、混合後はなるべく早く使い切ってください。
- 【4】 既調合タイプの材料を希釈したり、他の材料と混合しないで下さい。
- 【5】 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS(安全データシート)を参照して下さい。

2. 下塗り

【1】 色むら、だれ、光沢むらのないよう均一に塗り付けて下さい。

3. 目地用下塗り

【1】 色むら、だれ、光沢むらのないよう均一に塗り付けて下さい。

4. 主材塗り

【1】 主材塗り見本と同様となるように注意して、施工を行なって下さい。

5. 上塗り

【1】 上塗材は、2回塗りを標準とし、色むら、だれ、光沢むらのないよう均一に塗り付けて下さい。

【2】 上塗材の希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率で使用して下さい。希釈率は色相及び施工時の気温により変化します。

6. 施工方法

【1】 各種標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工して下さい。

●施工管理

【1】 施工場所の気温が5°C以下、湿度が85%以上又は結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生じることがありますので、施工を避けて下さい。

【2】 降雨、結露、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を避けて下さい。

【3】 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止して下さい。

【4】 施工しない箇所はあらかじめ養生をし、その他の材料が付着しないようにして下さい。

【5】 養生を剥がす際は、十分に注意して行って下さい。

●その他の注意事項

【1】 施工器具等の洗浄水が、河川に流出したり、土壌にしみ込まないようにして下さい。

【2】 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行って下さい。

【3】 刷毛、ローラー、スプレー等、施工方法により若干の色相差を生じることがあります。

【4】 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどに施工する場合は、蓄熱したり、水の影響や、下地の状態、塗装時の環境など条件により、塗膜の膨れ、はがれ、色むらが早期に生じることがあります。

【5】 被塗物の形状、膜厚や色目、塗回数、希釈率により、仕上がり感が異なって見える場合があります。特に、塗継ぎ箇所では仕上がりムラを生じやすい傾向にあります。試し塗りの上、本施工して下さい。

【6】旧塗膜の種類により、下塗材を選定して下さい。

【7】改修・改装工事の場合は、弊社最寄りの営業所にご相談ください。

【8】製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細は SDS(安全データシート、旧MSDS)を参照して下さい。

* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照するようにして下さい。